NEWS　RELEASE
SHOKO CHUKIN BANK

商工中金

2026年10月16日
商　工　中　金

住宅関連事業を手掛ける株式会社Kizukiホールディングスに対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の**横浜支店**は、**株式会社Kizukiホールディングス**（本社：神奈川県横浜市、代表者：小泉 武彦）に対し、サステナブル経営に必要な資金として1億円の融資枠を開設しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社グループは、木材・建材の販売や住宅の設計・施工、維持管理等を手掛けています。グループ各社の機能を生かし、資材調達からアフターメンテナンスまで一貫して対応しています。

今回同社は、国産木材の利用推進による環境負荷の低減や、働きやすい職場環境整備の取組み等を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

(注)同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス**評価書**」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社Kizuki（キズキ）ホールディングスの概要】

所　在　地	神奈川県横浜市都筑区川和町101
代　表　者	小泉 武彦
資　本　金	50万円
従業員数	14名（グループ全体2026年6月時点）
設　立	2022年9月
業　種	グループ経営管理業、不動産賃貸業



【同社施工事例】

（※）「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

